

PRESS RELEASE

2025 年 7 月 24 日

プライム ライフ テクノロジーズ株式会社

～輸送力不足・カーボンニュートラルなどの社会課題解決に貢献～

新たな PLT 輸送連合の取り組みで物流効率化、CO₂ 排出量削減を実現

プライム ライフ テクノロジーズ株式会社（港区港南二丁目 16-4／代表取締役社長 道浦正治、以下 PLT）と PLT グループ住宅 3 社（パナソニック ホームズ株式会社、トヨタホーム株式会社、ミサワホーム株式会社）は、各社の輸送協力会社 19 社の稼働状況に応じて車両を融通し相互活用するなど、輸送連合体制を構築して物流を効率化、2024 年度末までに 4t トラック 261 台分/年に相当する輸送力不足への改善を実施し、輸送 CO₂ 排出量 26t-CO₂/年※の削減を実現しました。グループのシナジー効果により各社単独では成しえない規模の削減となりました。

※スギ換算で約 1,860 本分に相当



パナソニック ホームズ湖東工場内イメージ

3 社合計で、全国に 14 か所の生産拠点と 85 か所の物流拠点があり、これらを活用し「**地産地消**」、「**物流拠点の共同化**」、「**輸送の効率化**」、「**輸送の連合化**」などの以下の取り組みを進めてきました。

① 「地産地消（生産拠点の最適化）」

大型部材の生産について、3 社の生産・物流拠点を共同活用し建築予定地最寄りの拠点で生産することで、長距離輸送を削減。具体例として、九州エリア向けのパナソニック ホームズやトヨタホームの屋根パネルを、パナソニック ホームズ九州中継センター（福岡県三井郡大刀洗町）やミサワホーム福岡工場（福岡県鞍手郡鞍手町）で組み立てることで輸送を効率化しています。今後も、地産地消の対象部材の拡大検討を進めていきます。

② 「物流拠点の共同化（ドライバー負担の軽減）」

3 社の生産・物流拠点を共同活用し長距離輸送時の中継デポとして利用することで、長距離輸送を抑制しドライバーの拘束時間やトラック台数を削減。具体例として、パナソニック ホームズ湖東工場（滋賀県東近江市）から愛知県東部エリアへの輸送の際にトヨタホーム春日井事業所（愛知県春日井市）を中継デポとして活用しています。

③ 「輸送の効率化（空車回送の削減）」

3社における「帰り便」を有効活用することで、空車での回送を削減し輸送を効率化。具体例として、ミサワホーム岡山工場（岡山県備前市）から同名古屋工場（愛知県江南市）への配送の帰り便を活用し、パナソニック ホームズ湖東工場からパナソニック ホームズ岡山デポ（岡山県倉敷市）への部材を配送しています。

④ 「輸送の連合化（輸送能力の最大化）」

特に、輸送力がひっ迫する関東・中部地区において、3社の輸送協力会社のネットワークを共有。3社の繁閑差を活かして各社の輸送協力会社19社を相互活用する体制を構築し、ピーク時のトラック台数を平準化。具体例として、繁忙期におけるミサワホーム沼田工場（群馬県沼田市）からミサワホーム松本基地（長野県松本市）への部材転送に、パナソニック ホームズの輸送ネットワークを活用しています。

上記のほか、過去2年にわたる取り組みのなかでモーダルシフトやトレーラー共同活用なども進めており、これらの活動を通してさらなる輸送効率化並びにPLTグループが掲げるカーボンニュートラル目標の達成（2030年度までのCO₂排出量50%削減※）を実現します。 ※住宅事業での排出量/2020年度比

以上

未来をまちづくり **PLT**

Prime Life Technologies

プライム ライフ テクノロジーズグループは、パナソニック ホームズ、トヨタホーム、ミサワホーム、パナソニック建設エンジニアリング、松村組を事業会社として「未来をまちづくり PLT」をコーポレートメッセージに掲げ、社会課題と顧客課題の解決に取り組みます。

※プライム ライフ テクノロジーズ（株）は、2020年1月にパナソニックとトヨタ自動車が設立し、三井物産を加えた3社を株主とする会社です。

* 本件に関するお問い合わせ先 *

プライム ライフ テクノロジーズ株式会社 経営企画部 武田路和 中山肇

E-mail : info@prime-life-tec.com